

島根大学のダディ(おとうさん)を応援するニュースレター

シマダディ

島根大学男女共同参画推進室



イクメン応援ニュースレター「シマダディ」 始まりました

男女共同参画推進室ではイクメン応援企画として、ニュースレター「シマダディ」を創刊しました。

島根大学では平成28年度からの第三期中期目標期間において女性研究者・女性管理職の比率向上を掲げています。国も「一億総活躍社会」のキャッチフレーズのもと、女性や障害者など誰もが活躍できる社会の実現を目指しています。

しかし家庭における女性の役割・

負担を振り返ると、男性に比べてまだまだ多いという現実があります。

女性が職場で性別に関係なく活躍するためには、裏返せば、男性が家事・育児・介護などを自分の役割として分担していくことが必要になってくるのではないのでしょうか。

育児参加中の方だけでなく、これから結婚・子育てを経験される方、男性の家事参加を意識したことが無かった方も、シマダディをきっかけ

に「こんなライフスタイルもあるんだ」ということを知っていただき、まずはイクメン・イクボスの第一歩を踏み出していただければと思います。

そして、本紙が職場環境の改善やイクメンのコミュニティづくりの一助となれば幸いです。

第2回：法文学部 嘉村先生の「シマダディ」生活について伺いました



法文学部法経学科 准教授

嘉村 雄司 先生

平成22年より島根大学にて、企業法分野の研究に従事。家庭では1女の父として子育てで奮闘中。

平成22年4月より、島根大学法文学部にて企業法分野の教育・研究を行っています。

妻と結婚してほぼ3年、娘が生まれて1年ほど経ちました。妻も私も、地元が松江ではないので近くに家族・友人がおらず、日々子育てに悪戦苦闘しています。イクメンの皆様方が家事・子育てにどのように関わっておられるか、いろいろ教えてくださいたいです。よろしくお願いいたします。

裏面ページでは、そんな嘉村先生に3つの質問にこたえていただきました。さらに、読者のみなさまにも逆に嘉村先生から質問があります。

→詳しくは裏面をご覧ください

ゼミメンバーと家族も課外でたのしく交流を深めています。にぎやかなゼミです。



質問1： 家庭では、子育てにどのような場面で関わっていますか？ 得意な家事があればおしえてください。

今は妻が専業主婦なので、家事・子育てをメインでやってくれています。私も家に居る時は、適宜分担しています。

出産後すぐは女性は辛いだろうと思ったし、何をどうすればよいかも分からないので、とにかく妻に「どうしてほしいか」を聞きながら学びまし

た。

最近では、ご飯、お風呂、着替え、おむつ替え、寝かしつけ、読書など幅広く分担しています。特に、洗濯とお風呂は毎日やっています。逆に、料理はいつも妻が作っているなど、完全分担している所もあります。

必要があればやるようにしているので得意な家事というと微妙ですが…毎日やっている洗濯やお風呂入れは得意です。そのほかには遊びでしょうか。娘はハイハイする年頃なので、成長を実感しながら、楽しく遊びの相手をしています。

質問2： 研究(仕事)と家庭の両立で悩んだことがありますか？また、そのときどうしましたか？



嘉村先生から質問

我が家では、妻がいつも子どもと向き合っているのですが、一人で過ごす時間やリラックスが必要だなと感じています。みなさんがお持ちの、「パートナーに休んでもらう方法」「こんな決まりを作っています」など色々教えてください。

【お返事はこちらまで投稿】

・男女参画室メール：kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

【回答はだれでも閲覧できます】

・男女参画室ホームページ：<http://gender.shimane-u.ac.jp/>

悩んだことはあります。まず、寝る時間がなくなります。それから起きていても、子どもと関わる分、起きているときの時間も減ります。以前のようなペースで研究を進めることは難しいです。当たり前ですが、集中して仕事

をするほか、時間に区切りをつけて工夫しています。

早朝に起きて自宅で仕事をし、子どもの世話をしてから昼前に職場へ向かう。あるいは早朝に出勤して早めに帰宅するなど、家庭の状況に合わせて変化させています。教員は裁量労働制ですから、調整が効きやすい部分はあります。

読者のみなさまのお返事を募集します！

質問3：子育てをされていて幸せだと感じることや感動体験はありますか？

生まれたばかりの頃は、すぐに実感は湧かず、時間がたってからじわじわ…という感じでした。感動とは少し違うけれど、うれしい気持ちとしっかりしなきゃというプレッシャーもありましたね。

ソファに登ったあと、頭から落ちない方法を教えたら、100%足から下りてくれるようになったときは成長を感じてうれしかったです。また、高速ハイハイで帰宅を出迎えてくれ、そのあと布団で一緒に遊ぶときにも幸せだと感じます！

みんなのアイデアを集めて、誰でもアクセスできるようにします！

編集後記

「シマダディ」第1号、いかがでしたでしょうか。まだ始まったばかりの企画ですが、ぜひみなさまからのお声を頂戴して、次号からも改善を重ねていきたいと考えております。引き続きどうぞよろしくお願いたします。

島根大学男女共同参画推進室

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060番地

Mail: kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp



男女共同参画推進室のホームページをご覧ください。特設サイトにて、嘉村先生からの質問に対するみなさまのお返事を集約し、だれでも育児のお悩み&アドバイスにアクセスできるよう準備中です。 <http://gender.shimane-u.ac.jp/>